

▼ヘンデル／オラトリオ「ヘラクレス」



◆ヘンデル・フェスティバル・
ジャパン2006

〈ドラマティスト・ヘンデル〉
「オラトリオ「ヘラクレス」

○三年に始まった「ヘンデル
フェスティバル・ジャパン」、今
回は劇的オラトリオ「ヘラクレ
ス」が全曲ノーカット演奏され
た。三時間を優に超える、オラ
トリオ作曲家ヘンデルの面目躍
如たる大作である。ヘンデルは、
イギリス人の嗜好に応じて演奏
会形式のオラトリオに精魂を込
め多くの作品を残したが、現在
最も頻繁に演奏される「メサイ
ア」はやや独特の内容で、むし
ろ「ヘラクレス」のような劇的
オラトリオが彼の作風の中心で
あった。加えて、オペラのように
に舞台装置の制約を受けないオ
ラトリオにおいて、ヘンデルは
時間、空間を越えた自由な発想
と明快な音楽を融合することが
可能だったといえよう。今回は
渡邊孝の指揮とチェンバロの下、
牧野正人、波多野睦美、野々下
由香里、米良美一、辻裕久とい
った斯界の名歌手、自前の管弦
楽と合唱によって、優雅でしか
し元気なヘンデルの真骨頂が再
現できたのは快挙と言って間違
いないことであった。(1月14日、
浜離宮朝日ホール) (保延裕史)